

すべては子供たちの笑顔のために

東信教育事務所

令和4年 6月15日

〒384-0006

小諸市与良町6-5-5

Tel.0267-31-0251

Fax.0267-31-0140



バックナンバーはこちらから

郷音

ひびき
Vol.2



野外学習直前の荷物点検。

大きな荷物を担いで登校する朝は、他の学年の子たちからの視線を感じて、なんだかいっそう心が弾む。

できるだけ軽くなるように工夫してきたけれど、それでも、こんなにも重たくなった。

「なんだか君のタオルはやわらかそうだね」

「僕はティッシュをちょっと余分に持ってきた」

「帽子はどんなのにする？」

友だちの荷物をちらっと見ては、自分の荷物をちよっと見る。

これもまた楽しい。

広げた荷物をもう一度自分のバッグに戻したら、なんだかさっきよりも膨らんでいるような気がしてきた。

自分で上手に詰められるように、家に帰ったら、もう一度整えよう。

Hibiki vol.2 「整える。整う。」

✂ “授業から学ぶ”

- ・子供の姿をイメージして、しかけを考え準備を整える
- ・心を整えて、授業をみる

✂ “研修会の窓”

- ・語り合うことで心を整え、見通しをもつ
～研サポネット・研究主任研修会～
- ・明日からの一歩へつながる
～授業づくり学級づくり研修会～

✂ “SSWの笑門来福”

- ・スクールソーシャルワーカーの活動について
- ・進路はれやか相談会のお知らせ

✂ “生涯学習課より”

- ・スポーツ用具貸出について

整える。
整う。



授業から学ぶ

小2学年・国語
「うれしいことば」



子供の姿をイメージして、 しかけを考え準備を整える

人を喜ばせることば。元気にさせることば。そんなことばがたくさんあることに気づいてほしい。そう願ったA先生は国語の授業の中で様々なしかけを用意していました。

しかけ1 「やってみよう！」を引き出そう

校長講話で紹介された絵本「しあわせのバケツ」は全員が知っているな。子供の日常と国語をつなげてみよう。



からっぽのバケツをいっぱいにするためには？

本を読んだから知ってるよ。うれしい言葉をかけるんだ

「これ知ってる。」そんな安心感から授業が始まりました。

大きなバケツさんがあれば意欲的に取り組めるかな。



子供たちのやりたい気持ちがふくらんでいきました。

うわー、大きい。いっぱいになりたい！

うれしいことばをたくさん集めたいな

絵本『しあわせのバケツ』どんな人も心に「しあわせのバケツ」を持っています。そのバケツは人が喜ぶことをするといっぱいになり逆に嫌がることをすると空っぽになってしまいます。



しかけ2 つまずきを乗り越えらえるようにしよう

場面を示した絵カードがあれば、Bさんもうれしいことばを思い出しやすいかな。



何があるかなあ？



子供たちは手を止め、黒板の絵カードを見つめ、書き始めました。

てっだっくれてありがとう

しかけ3 気づきを広げる場をつくろう

友達が書いたカードを見合えばCさんも、他のことばに気づけるかな。



うれしいことば探しの旅に出よう！

あ、これもうれしいことばなんだね



友達の気づきが自分の気づきとなり、うれしいことばが増えていきました。

「これを用意したら追究意欲が高まるかな」「ここで困るだろから〇〇が必要かな」等しかけを用意するためには、児童生徒理解が重要です。具体的な子供の姿をイメージしながら授業を構想していきましょう。



授業から学ぶ

初任者研修 「授業参観」



心を整えて、授業をみる ～ 初任者研修 授業力向上研修 ～

初任2年目の先輩の先生の授業をみて、子供たちをみて、何がみえてきたのか。同期の仲間との討議を通して、授業を「みる」ために必要なことや「みえてくる」大切なことについて学び合いました。

「子供の実態を把握することはとても大切で、子供目線で授業をみたときに、流れがスムーズで無駄がないと、子供が授業にのめり込んでいけると実感しました」

「数え棒から数字、個人追究からグループ追究という段階を踏んでいて、子供にとってとてもわかりやすくなっていたと感じました」

子供目線で授業を「みる」ということは、純粋にその授業に参加している一人になったつもりで「みる」ということです。授業を純粋体験として捉えることは、授業者の子供への手立てや配慮のよさについて実感を得るために必要なことですね。



「授業のテンポがよく、メリハリがあるだけでなく、反応を拾ったり、考えが書けないでいる子のために、一人の子に発表をしてもらうことによって支援をしていた工夫が印象的です」

「子供に対して『ありがとう』の声がけ。終始笑顔でいる先生。そして子供たちも授業を楽しんでいる」



指導案には書かれていないものが「みえてくる」ことがあります。そこには、教師と子供との信頼関係、それを基盤とした日々の積み重ねによる阿吽の呼吸、磨かれた感性による刹那の反応と支援的的確さなどがあります。そういった僅かな場面に気づけることも、自分の授業づくりや学級づくりを振り返るために大切な「みる力」ですね。



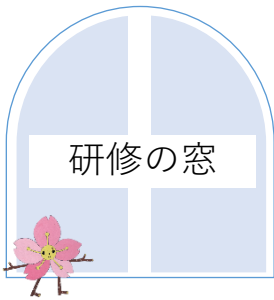
「一人の子の姿を追って、その成長をみることができたことに、私は感動しました」



一人を追って授業を「みる」ことは、授業者の立場で授業を振り返ることにおいても、授業の成果と課題を見出すために必要な見方の一つです。そして、変容をみせる子供に出会い、そこに感動を覚えることができたのは、本物をみせてくれる教室に感謝し、授業者の願いに寄り添い、子供の成長を願う一人として心を整えて授業を「みる」ことができたからこそですね。

授業を「みる」ことは、すべては自分自身の授業改善のためであり、目の前の子供たちのためであることを忘れずに、心を整えて授業参観研修に臨んでください。





研修の窓

語り合うことで心を整え、見通しをもつ ～研サポネット・研究主任研修会～

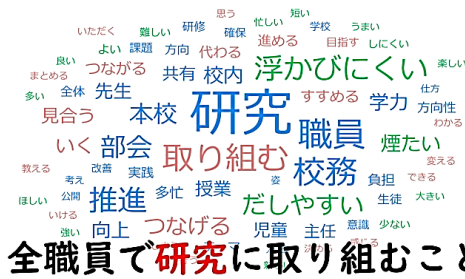
子供たちの笑顔のために、校内の先生方と共に歩む研究主任。先生方と「研究に取り組んで日々の授業にいかすことができてよかった」と思えるような、授業改善の取組を語り合いました。

インプットとアウトプットで研究推進の「見通し」をもつ

今年から研究主任になりました。何から取組めばいいのか不安です。



アンケートから 研究を推進する上で課題と感じることは何ですか



全職員で研究に取り組むこと

先生方と一緒に授業改善を進めるために、校内の先生方と授業について語り合ったり学び合ったりする時間をつくりたいです。



「どうしたら研究（授業改善）をみんなのものにしていけるのだろう？」
全体研修の後、テーマ別に3つのグループに分かれて語り合いました。最後にお互いの学びをスライドにまとめて共有しました。

インプット

アウトプット

見通し

グループ協議に向けて ～研究推進のヒント～

(1) 授業改善につながる研究の推進

・グループ内を中心に授業を見合う。
合言葉は「10分でも30分でも」



公開授業ではなく「導入の10分間」などテーマを決めて動画で撮って共有したら、好きな時間に見られる！意見も共有しやすいね。



「明日が楽しみになる研修」

グループ番号:1 学校名:浅間山小学校
氏名:浅間山太郎

②本日の研修で学んだこと これから取り組みたいこと

- 行くのが楽しみになる研究会
- 先生一人ひとりが主役
- 日頃から風通し良く、見合える環境づくり
- やってよかった授業公開 授業研究
- 授業改善・子どもにかえる
- 公開授業・やってよかったと思えるように
- ICTも活用して、全校の先生でいいところみつ
- 先生たちの学びにつながる授業研究

グループ協議に向けて ～研究推進のヒント～

(2) 授業改善、学習改善につながる評価について

・主体的に学習に取り組む態度とはどんな姿なのか
「生徒の学習カードの記述」をもとに研究



単に「振り返りましょう」ではなく「振り返りの視点」を具体的に子供たちに示したら振り返りの言葉が変わってきそうだね。先生方と考えてみたい。



「やる気が湧いた研修」

グループ番号:10 学校名:四阿山小学校
氏名:四阿山空美

②本日の研修で学んだこと これから取り組みたいこと

- 振り返りカードの充実（評価）について
- 相互評価、生徒の自己評価→生徒の自己肯定感に
- 単元テストを行う際の単元テスト計画の作成
- 生徒も教師も納得できる評価規準、方法の模索
- 振り返りの位置づけを明確にすること「何を」「どうやって」振り返るのか
- ルーブリック表に基づく相互評価
- フォームをつかった評価

グループ協議に向けて ～研究推進のヒント～

(3) 資質・能力の育成につながるICTの活用について

・まずは自分たちが使う機会を増やす
・授業にICTを活用している先生が講師となって職員研修を定期的に行う



「ICT活用研修で学んだことを授業にも仕事にも使う」場面を設定してみよう。



「主役は人、ICTはスパイスとして活用研修」

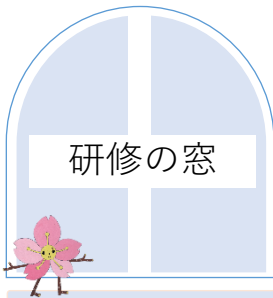
グループ番号:15 学校名:金峰山中学校
氏名:金峰山巖

②本日の研修で学んだこと これから取り組みたいこと

- 授業動画をテーマを決めて先生方に撮影していただき、授業を気軽に見合えるようにしたい。
- 「資質・能力」を高めるためにICTはどのように活用できそうなのかを模索していく。ただし使用するものが目的とならぬように、ICTだからこそその部分を大事にして考えていきたい。
- 顔を突き合わせて人との関わりをつくる。ここを進める中でのICT活用を考えたい。

研究主任研修会に参加した87校の工夫を参考にしながら、子供たちの笑顔のために、一緒に授業改善を進めていきましょう。離れていてもつながっていますよ。





明日からの一歩へつながる ～第1回授業づくり学級づくり研修会～

第1回は、38名の先生方が参加し、授業づくりについて考えたり、お互いの悩みを相談し合ったりしました。

これだけはおさえよう！「授業づくり学級づくりのはじめの一歩」（基礎研修）

【授業づくり】

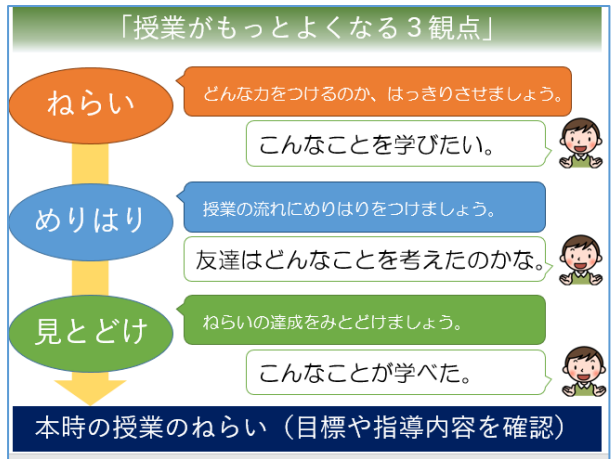
どうやって1時間の授業を組み立てたらよいかを、「授業がもっとよくなる3観点」をもとに、実際の授業場面に照らし合わせながら考えました。

【学級づくり】

授業において、例えば一人一人が考えた意見を認め合う雰囲気、そのまま学級の雰囲気になること、その子のよさをクラスに位置付けることが、安心感などにつながり、授業づくりが学級づくりにつながることを考えました。

<参加者の振り返り>

- 授業づくりは学級づくりという言葉聞いて、はっとしました。授業でもっと子供をよく見ていきたいと思いました。



- 子供と共に課題を設定することの大切さを感じました。より目的意識をもって、授業に取り組めると思いました。



「子供と共に授業をつくっていきたい」「明日からやってみたい」という先生方の思いを感じました。ぜひ、その思いを大切に実践してみましょう。

悩みを共有し、明日へのヒントをもらい一歩につなげる（グループ懇談）

後半は、グループに分かれ、まずは一人一人が、これまでの実践を振り返って、課題や悩み等を発表しました。それに対して他の参加者の先生や指導主事が、アドバイスや解決方法を提案しました。



A先生は、子どもたちの言葉で授業のまとめをしたいがなかなかうまくいかないという悩みをもっており、それに対して、B先生は先生の問かけが大切ではないかと話していました。A先生の表情がぱっと明るくなりました。A先生の悩みが晴れた瞬間でした。

<参加者の振り返り>

- 他校種、他教科の先生方の声を聞き、自分にはない考えが聞けたことで、明日からの一歩につながると感じました。
- 今までの自分の授業を振り返る機会になりました。悩んでいることを聞いてもらえたことがすごくよかったです。解決の方向が見えました。

悩みを話したり、アドバイスをもらったりすることで、また明日からやってみようという気持ちになりますね。

子どもや先生方のために、今後の研修でもお役に立てたらと思います。



《今後の予定》

◇第3回 期日：7月14日（木）

◇第4回 期日：11月28日（月）

会場は、東信教育事務所です。

ご参加をお待ちしています！

SSWの 笑門来福

みんなの笑顔のために



SSW（スクールソーシャルワーカー）の 活動について

～令和4年度の体制とSC・SSWの協働～

今年度から東信4市の市教育委員会へSSWが派遣されています。SCとSSWの違いを聞かれることがありますが、住み分けではなく協働してケースに対応する場合も多くあります。

令和4年度の SSWの体制

上田市・東御市・小諸市・佐久市の
小中学校

市教育委員会へ相談申込書を提出

町村の小中学校・東信地区の高校

東信教育事務所へ相談申込書を提出

相談に迷った時はまず電話にてご一報ください。SSWが学校へお伺いし、状況を確認しながら一緒に考えます。

SCとSSWの活動について

SC

- 個々の児童生徒や保護者へのカウンセリング
- 児童生徒への対応に関し、保護者や学校への助言
- 心理教育

SSW

- 専門機関と連携した家庭環境や児童生徒への働きかけ
- 医療福祉制度の紹介、活用の手助け
- 学校と関係機関との連携、調整

共通

- 相談活動（不登校・不適應含む）
- 児童生徒・保護者・教員間の橋渡し
- アセスメント・助言
- 支援会議への参加、校内研修活動

互いに協働しながら活動しています

令和4年度も本格的にスタートしました。疲れも出てくる季節なので、児童生徒の状況を見ていただきながら相談が必要な時は早めにご連絡をお願いします。



お知らせ

進路はれやか相談会へお越しください

東信教育事務所では、いじめ・不登校地域支援事業の一環として、進路についての悩みや不安を抱えている不登校傾向にある生徒及び保護者を対象に、進路に関する相談会を開催し、進路選択の不安軽減に向けた支援を行っております。



○佐久市民創錬センター

7月25日（月）

17:00～20:00

受付 16:30～19:30

1階集いの広場

○上田創造館

7月26日（火）

17:00～20:00

受付 16:30～19:30

1階ロビー



□進路等について、東信教育事務所の指導主事が、プライバシーに配慮して相談に応じます。
□事前の申し込みが必要です。各学校に配布されているチラシをご覧ください。

NEW!

新規入荷『スポーツ用具』紹介！

屋内での、ボールゲーム・ボール運動・球技に活用を！

◆テニピン ハンドラケット 《40個》

専用ボール付き（24個）

- ・ボールを打つことを易くします

テニスを基にした
易しいゲームに！



◆キックルパッド 《8個》

（今後16個になる予定）

- ・円柱形で滑りやすく、パッドを止めることを易くします

ゴール型の易しい
ゲームに使えます！



「借用申請書」がダウンロードできます！

- 1 まずは、電話で確認… ①借用物品 ②必要個数 ③希望借用期間
- 2 ホームページから、借用申請書をダウンロードして入力… メール送信

検索：東信教育事務所 → イベント → スポーツ用具貸出について

学校での利用の声

児童会イベントで、ブースごと全校が楽しみました。

年間8回のクラブ活動で、様々なターゲット系用具を借用しました。ルールを児童が工夫しました。

ニュースポーツ職員研修で、学校にはない用具の体験ができ、リフレッシュしながら体育の授業の教材化にもつながりました。

貸出頻度ランキング (保有数)

- 1 ボッチャ (9セット)
- 2 ストラックアウト (大1, 中1)
- 3 ラダーゲッター (4セット)
- 4 輪投げ (2セット)
- 5 ガラッキー (3種類各1セット)
- 6 キンボール (3セット)
- 7 ネットネットゲーム (大6, 中7)

※上記の用具や種目のルールについても、お問い合わせください

『ルールやゲームの内容について知りたい！』
『どこで、だれと、こんなことをしてみたい』
という相談も、気軽にお問合せください。
地区行事や公民館活動でも、ご利用できます。
(PTA役員、地区役員さんにもご紹介ください)

お問い合わせ

東信教育事務所 生涯学習課

担当： 柿沼 宏直

TEL： 0267-31-0252

E-mail： toshinkyo-shogai@pref.nagano.lg.jp

